



装備

と、もうそれだけでアルプスのふもとに行きたいになって楽しいものです。このランドネ道、ピークは一つも通らないみたいですが（この低回趣味が素晴らしい！）、50を超える峠（col）があり、峠を越えると認定証が出るみたいです。

つくづく歳はとりたくないものだと思います。若い皆さんにはぜひこうしたことにも挑戦されてはいかがでしょうか。もちろん自己責任でお願いしますが…。



## カナダ、キングストン市から 眺める冬のオンタリオ湖

経済学部 川端 朋広



標識

愛知県、中部地方に住むみなさんは、これまでにどのくらいの寒さを経験したことがおありだろうか？筆者は青森県の出身で、北海道にも住んだことがあるので、冬と言えば氷点下になるのが当たり前であった。（なんなら、学校に着くまでに、自分の体に横殴りの雪が積もったりもした。）しかし、しかしである。マイナス20度というのは、そんな私にとっても間違いなく未体験ゾーンであった。

今回掲載する写真は、2011年2月、学生引率でカナダ、キングストン市を訪れたときのものである。本学の提携校、クイーンズ大学があり、古いヨーロッパ的な雰囲気を残す、美しい街である。北米五大湖の一つに数えられるオンタリオ湖に面しており、自然の美しさも特筆すべきものがある。

冬のカナダということで、事前にその気候に



写真1：湖岸に打ち寄せられ、折り重なる氷塊

については十分に調べ、学生たちにも注意を促していた。年にもよるのだが、2月はほぼ氷点下が続き、まれにマイナス20度近くになることもあるらしい。

さて、普通ならそこで、「大丈夫か?」と心配するところかもしれないが、私自身はむしろ、少し心躍らせていた。高校生の時に函館に住み、極寒の中、石川啄木の詩集を握りしめ、冬の海岸を好んで歩いていた私にとって、これはまたとない機会になるはずだと思ったのだ。果たして、その思いは十分に報われることとなった。

私が訪問したその年は、例年より雪も多く、寒い年だったと記憶している。着いて早々、「明日はマイナス15度くらいになりますよ」と

いうスタッフの言葉通り、朝の登校時間はなかなかの厳しさであった。「寒い」というのはこの場合、適切な表現ではないかもしれない。むしろ、「痛い」のである。スキー用のフェイスガードなども用意してはあったのだが、風のある日にそれをつけ忘れると、皮膚を刺すような感覚を味わうことになる。

こういうときには、東北、北海道での経験が生きてくる。寒さをしのぐには、なにも高級な衣類を用意する必要はない。ポイントは、重ね着である。薄いものでも良いので、いつもより重ねる枚数を増やすこと。そして、どこかに必ず風をブロックする素材を入れておくことである。上半身だけでなく、靴や、下半身も防寒するように心掛けると、なお良い。

閑話休題。そうして、現地の寒さに慣れたところで、私は大学近くのオンタリオ湖周辺に行ってみた。これが予想通り、大変に美しく、その寒さを補って余りあるものであった。

まずは、湖面がすべて凍っている湖というものを見ることができたのは、後にも先にもこのときしかない。晴れた日の日中は、白い湖面に光が反射し、たいへん煌びやかな情景を見せてくれる。岸边には、少しずつ打ち上げられた氷塊がランダムに折り重なり、鋭く尖った外縁を

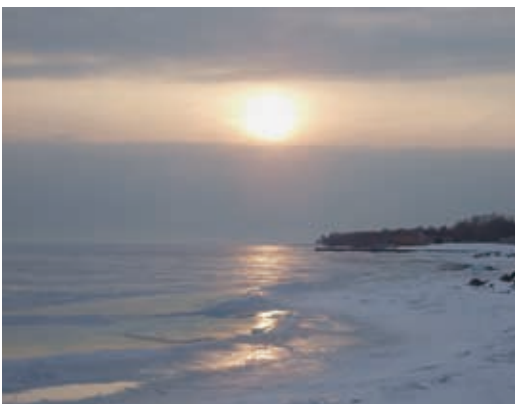


写真2：凍った湖面に夕日が映る美しい情景



写真3：割れた氷の間から現れるライトブルーの湖水

のぞかせている。(写真1)

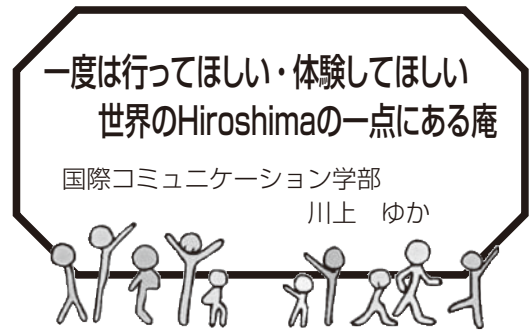
耳を澄ますと、その氷塊同士が擦れて発生する「ギギギ」や「ゴリゴリ」という音が常に鳴っているのだ。文字にすると、あまり魅力が伝わりにくいですが、こうした、自然の摂理が発する音に筆者は抗しがたい魅力を感じてしまい、ずっとでも聞いていられる。(一度、実際にずっとベンチに座っていたら、Are you OK?と地元の人に心配されてしまった(苦笑)。)

そして、湖面の美しさは、天候や時間帯によって様々な違った表情も見せてくれる。写真2は、晴れた日の夕暮れ時をねらって湖畔に降りたときのものである。オレンジの夕日が空には横一文字の帯をなし、白く凍る湖面には、一筋の光道を形成し、撮影者を誘うかの如くである。(どこへ?)興味を抱いた読者は、ぜひ「Lake Ontario winter sunset」で画像検索をしていただきたい。

最後に写真3であるが、これは岸辺の氷にできた割れ目から、薄く青みがかった湖水が湧き出ているところである。この青の美しさは、私がこれまで見てきたどの水の色よりも美しいと言っても過言ではない。ここに前述の、氷塊の擦れる音が加わるのであるから、これはもう何時間でも見ていられるのである。(いや、すみません、実際には1時間くらいで凍えてしまうのですが。)こちらの方も、「Lake Ontario winter」などで画像検索してみてください。

もちろん、温かい土地にも生命力の横溢を感じさせる美しさがあり、甲乙はつけがたい。しかしながら、極寒の地においてしか体験できない、厳しさと隣り合わせの、あるいは、それと融合した美しさにこそ、筆者は至高の美を感じるのである。カナダを訪れる機会があれば、ぜひとも体験していただきたい。

もちろん、防寒には十分に配慮の上で。



これまでに一度は広島に行かれたことがあるのでしょうか？

「広島」と言えば、何が思い浮かびますでしょうか？

そうですね～例えば…

お好み焼き…おいしいですよ。でも、私は関西風の方が好きです。

牡蠣…うん、私は生牡蠣が苦手です。

原爆ドーム…是非とも実際に足を運んで見ていただきたいです。

宮島…原爆ドーム横の栈橋から出ている高速船に乗っていくと楽しいですよ。

カーブ…ドラゴンズ本拠地でのコメントは控えさせていただきます。

などでしょうか。

私は昨年の3月に広島から名古屋に引っ越してまいりました。それまでは4年ほど広島に住んでおりました。生まれは広島なのですが、いろいろな土地を転々とし、5年前に久しぶりに広島市民に戻ることになりました。ん十年ぶりの広島は私にとって懐かしくもあり、外国のようでもありました。